

## しんろ・しごと部会

### 1 今年度の活動目標・目的

「障がい者雇用促進を目的に、障がい者雇用事業所連絡会との連携を図り、新たな就労支援の仕組みを構築する」

### 2 部会開催状況

- ① 6月6日(金) 午前10時00分～午前12時 出席者17名
- ② 9月17日(水) 午後1時30分～午後3時 出席者17名 ※勉強会
- ③ 12月24日(水) 午後2時00分～午後3時30分 出席者15名
- ・2月4日～20日 障がい者雇用 企業×福祉施設見学会

### 3 部会の取組、実施内容

| 取組                             | 実施内容                                                                                                                        |
|--------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 障がい者雇用に対する課題の抽出や意見の整理          | 大府市障がい者雇用事業所連絡協議会で実施したアンケート結果や就労継続支援B型事業所への勉強会で出た意見を部会で共有し、市内の障がい者雇用に対する課題の抽出について協議し、意見を整理した。                               |
| 市内就労継続支援B型事業所への就労選択支援制度の勉強会の開催 | 就労選択支援制度の開始に伴う、知多圏域や市内での動き方・特別支援学校の流れについての勉強会を開催。市の障がい福祉係と就労選択支援実施事業所にご参加いただき、制度内容や対象者、アセスメントシートの活用、会議の開催時期などについての勉強会を開催した。 |
| 企業×福祉施設見学会                     | 地元企業と福祉施設のつながりを深め、障がい者雇用を進める機会を設けることを趣旨として実施。<br>企業、事業所に協力いただき、令和8年2月に実施。                                                   |

### 4 成果

#### ・障がい者雇用に対する課題の抽出や意見の整理

企業側は、本人のアプローチの方法やできること・苦手なことに対する情報不足、本人の日ごとの体調変化の理解などを課題とした。さらに、採用される側に対し、8時間働く経験や戦力として雇いたい

企業側の希望への理解不足をあげた。福祉事業所側は、企業や教育への情報提供の難しさ、通勤方法の制限による就職先の制限、施設外就労の支援や実習可能な企業の情報不足などを課題とした。教育側は、社会で求められる力の理解不足やグレーゾーンの生徒への進路支援の情報不足、受け入れ先の限定、卒業後の支援体制などを課題にあげた。雇用支援側もネットワークの不十分さを課題とし、切れ目ない支援、企業・福祉事業所・行政が連携できていない点を課題とした。全般の課題として、ネットワークや情報共有の不足が課題としてあげられた。

また、部会の課題抽出の中で、ハローワークでの面接練習の機会があるなど、連携による課題の解決方法や、仕組みづくりなどについての情報共有や意見交換も行うことができた。

#### ・市内就労継続支援 B 型事業所への就労選択支援制度の勉強会の開催

令和 7 年 10 月から実施となった就労選択支援制度について、市の障がい福祉係と実施事業所から、知多圏域や市で検討された制度内容についての勉強会を開催した。対象者や会議の開催時期、利用期間やアセスメントの取り方、アセスメントシートの活用などについて共有し、事業所からの質疑に答え、各事業所への理解を促した。

また、障がい者雇用に対する課題についての意見も伺い、部会での課題抽出の意見にあげることができた。

#### 5 課題（次年度以降の実施事項）

- ・市内で連携できるようなツールの活用・見学や実習の機会の提供・仕組みづくりや切れ目のない支援についての検討
- ・障がい者雇用事業所連絡協議会との連携方法の検討
- ・B 型事業所での就職に向けたアプローチや仕事の創出に対するノウハウの獲得
- ・継続した定期的な企業見学
- ・就労選択支援制度が開始された中での市内の課題や情報共有